



第10号

平成29年2月6日
六ツ美中部小学校

ちゅうぶだいすきデー (1月26日)



ふるさと中部に育まれ

校務主任 稲垣 裕子

こま回しのこつを実演して伝える一年生、本光寺の鐘を自分の手で鳴らした体験を語る二年生、ふるさと中部の昆虫博士になった三年生、エコ活動を通して自分の生活を見つめ直す四年生、中部の菜の花を守り広げたい五年生、家族や地域の一員として、防災のために自分ができることを模索し続ける六年生。中部に伝わる古きよきものを温め、そして、これからの中部の暮らしの担い手になろうと、学びをつなぐ子供たちの姿がありました。

おうちの方や地域の方に支えられ、六ツ美中部の町や自然に包まれて、子供たちは成長していきます。「ちゅうぶだいすきデー」の思いがあらわれる一日でした。

おやゼミ

(1月26日)

今年度も地域講師の方をお招きして、「おやゼミ」を12講座開くことができました。
お仕事や専門的な知識・技能から、楽しく充実した学びを体験することができました。

講座「消防団の仕事」

六年一組 土屋 晃希

心に残ったことが二つあります。ポンプ車の中にある機械や器具の多さと、消火器から出る水の勢いです。火事を消すためには、こんなにも多くのものや、大変な力が必要だということにおどろきました。

講座「外国と英語の話」

六年二組 神原 佑香

フラダンスを使いながら、英語で天気を覚えました。雨は、手を上から下に下げ、くもりは、手で雲の形を表すなど、いろいろな動きを取り入れました。体を動かすことで英語を簡単に学ぶことができ、とてもよい経験になりました。

講座「バスケットボール」

三年二組 筒井 遥音

二人組になり、手もとを見ずにドリブルする練習をしました。ペアの相手が、両手の指で数を見せます。ドリブルしながら、左右の指の数をたし算する練習で、むずかしいけれど楽しかったです。前よりもっとバスケットボールがすきになりました。

講座「大工の仕事」

五年二組 藤井 香帆

大工さんが建てる家の構造では、柱が複雑に交わっていることを知っておどろきました。使う道具はたくさんありますが、昔の道具と比べると、今は機能がよくて進化していると感じました。

講座「楽しく走ろう」

四年二組 野口 華芳

走るとき、うでを後ろにいきおいよくふると、自然にそのうでを前に動かせることや、上半身を軽く使うとよいことを教えていただきました。学んだことを生かして、少しでも速く走れるようにと思います。

講座「しょうぼうしのしごと」

二年一組 志賀ゆずき

出どう回数が一年で一萬回以上あると聞いて、おどろきました。しょうぼうのふくもきました。とてもおもしろくて、ボンベやホースをもって走るのはいへんだと思いました。すごいしごとです。

講座「鳥の話」

六年一組 志賀 日咲

身近にいるいろいろな鳥たちを知ることができました。私の予想以上に、この六ツ美中部には美しくかけがえのない鳥たちが多くいました。鳥たちとふれ合い、守っていきける町でありたいと思います。

講座「介護の仕事」

五年一組 成瀬 光莉

車いすに乗ってみると、タイヤをおすのがむずかしく、思うように前へ進めませんでした。大久保さんが、「車いすを使う人は、体が不自由なだけで、私たちは同じ人間です。」と話していました。私も助けが必要な人の力になれたらと思います。

講座「つまみ細工で小物作り」

六年一組 夏目 萌衣

ちりめんという布を使って、花のかざりを作りました。ピンセットの先で布をつまむとても細かな作業でしたが、すぐになれて、作りやすいと感じました。とてもかわいく仕上がったので、家でも作ってみたいと思います。

講座「オレのサッカー」

六年二組 小林 翼作

ドリブルの仕方や、パスからシュートへつなぐコツを教えてくださいました。練習した技を使って、休み時間にもサッカーをたくさんやりたいと思います。学んだ基そを使って楽しく遊びたいです。

講座「電気の不思議」

四年一組 嵯峨 歩実

電じ石とじ石を使って実験をしました。始めは少しこわかったけど、自分で作ったモーターが回るとうれしくなりました。実験で使った道具をもらったので、家でもやってみたいです。

講座「看護師の仕事」

二年二組 太田ひまり

わたしは、NICUに五百グラムの赤ちゃんと一緒にびっくりしました。はだを守るためのラップをまいたり、くすりをあげて大きくなれるようにしてあげたりするそうです。お話を聞いて、わたしも人をたすける仕事をしたかったです。